

# ふくきた ネットワーク

福岡北九州高速道路の概要



福岡北九州高速道路公社  
平成28年(2016年)9月

## 基本理念

福岡・北九州両都市圏における安全・円滑な都市高速道路ネットワークを運営することにより、都市圏内外の人と物の交流を促進し、経済の発展、環境の改善及び生活の向上に貢献します。

## 経営理念

### お客様第一

お客様に満足いただける、安全・安心・円滑な質の高い都市高速道路サービスを提供します。

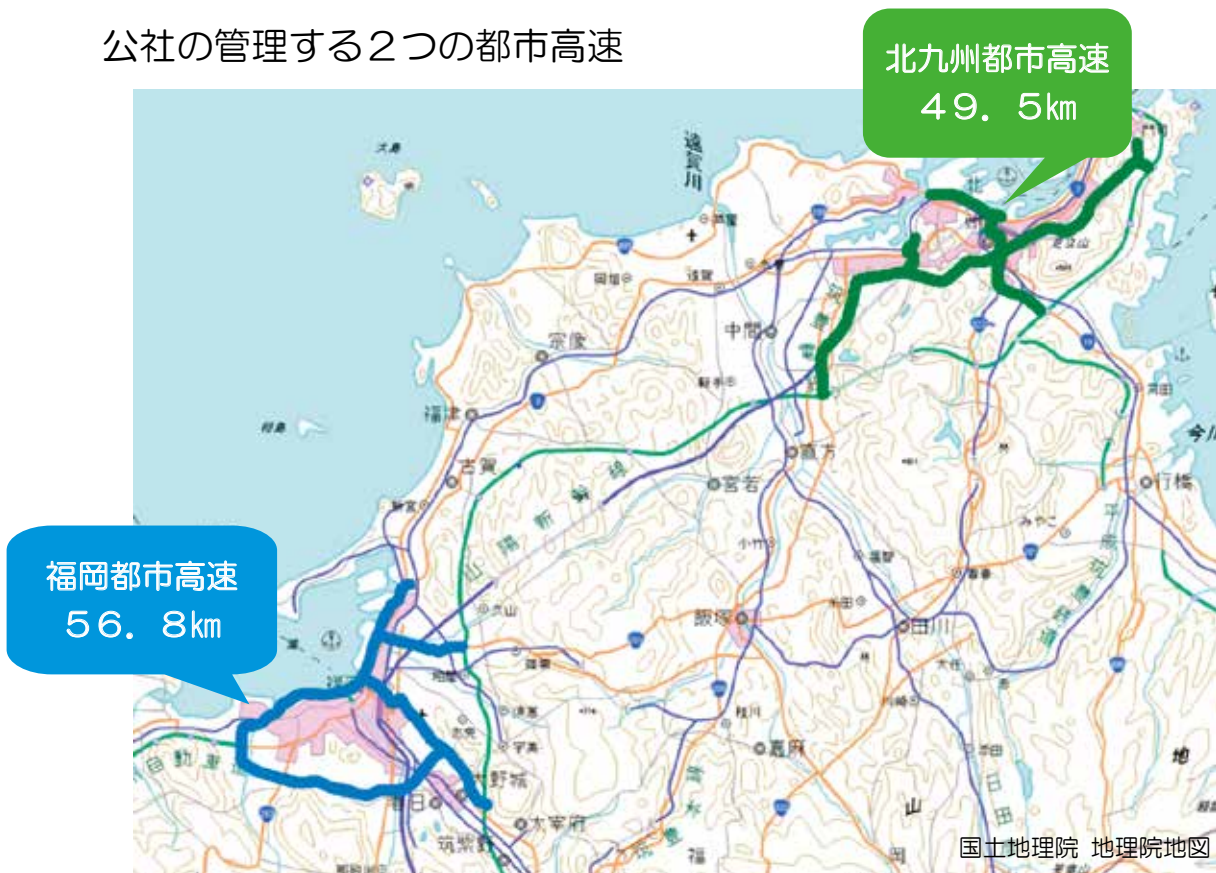
### 社会的責任

高い倫理観を持ち、都市高速道路の専門家集団としての総合力を発揮して、お客様や地域の皆様に信頼される組織を目指します。

### 安定した経営

健全かつ効率的な経営により、将来にわたり良好な都市高速道路サービスを提供します。

### 公社の管理する2つの都市高速



(表紙写真) 福岡高速 シーサイド百道を抜ける都市高速  
北九州高速 皿倉山から見渡す都市高速

# 公社プロフィール

福岡と北九州の都市高速道路は、お客様の豊かな未来に貢献するため、道路の保全・交通管制・交通パトロールなどによる安全・安心・円滑な道路サービスを提供しています。

◆ 設立年月日

昭和46年（1971年）11月1日  
福岡県、福岡市、北九州市により設立  
（地方道路公社法第8条）

◆ 所在地

本社・福岡事務所  
福岡市東区東浜2丁目7番53号  
北九州事務所  
北九州市小倉北区東篠崎3丁目1番1号

◆ 業務

福岡都市圏及び北九州都市圏の交通体系の根幹となるネットワークを形成する指定都市高速道路の新設又は改築等  
（道路整備特別措置法第12条第1項）  
(1) 都市高速道路の新設、改築、維持管理  
(2) 都市高速道路と密接な関連のある道路の建設、管理  
(3) 高架下の管理

◆ 営業延長

106.3km	福岡高速	56.8km
	北九州高速	49.5km

◆ 料金収入（平成27年度）

577.5億円/年	福岡	407.3億円/年
	北九州	170.2億円/年
1.58億円/日	福岡	1.11億円/日
	北九州	0.46億円/日

◆ 通行台数（平成27年度）

9,938万台/年	福岡	6,667万台/年
	北九州	3,271万台/年
27.2万台/日	福岡	182,155台/日
	北九州	89,364台/日

※端数処理の関係上、合計において合致しない場合があります。

◆ 役員・職員数

157名      うち常勤役員 5名（平成28年7月1日現在）

## 目 次

公社プロフィール	1
1 福岡高速道路・北九州高速道路とは	
1) 福岡高速道路	2
2) 北九州高速道路	4
2 ネットワーク機能の強化	
1) 福岡高速のネットワーク	6
2) 北九州高速のネットワーク	7
3 安全・快適なサービスの提供	
1) 事故・渋滞対策	8
2) 交通情報提供サービス	10
3) お客様の利便性向上	11
4 安心のための維持管理	
1) 点検と維持補修	13
2) 老朽化・予防保全対策	14
5 信頼される事業運営	
1) 料金収入・通行台数 ・供用延長の推移	16
2) 高架下駐車場	17
3) 年度別収支の状況 （平成27年度）	18
4) 事業資金の調達と 借入れ状況	20
5) 平成28年度予算	22
6) 役員・組織	22
7) 主な経緯 （計画路線・備選期間・主な供用・その他）	23



# 1 福岡高速道路・北九州高速道路とは

## 1) 福岡高速道路

### 路線図・交通量

福岡高速の道路延長は 59.3km(営業延長 56.8km、事業中延長 2.5km)で、平成 27 年度の通行台数は 182,155 台/日となっています。



### 整備計画

路線名	起点	終点	車線数	設計速度 (km/hr)	延長 (km)	事業費 (億円)	工期
福岡高速1号線	福岡市 東区香住ヶ丘	福岡市 西区福重	4・6	60	18.0	3,167	昭和46年度 ~ 平成23年度
福岡高速2号線	福岡市 博多区千代	太宰府市 水城	4	60・80 (※)	13.2	2,153	昭和47年度 ~ 平成24年度
福岡高速3号線	福岡市 博多区東光	福岡市 博多区豊	4	60	0.6	65	昭和48年度 ~ 平成19年度
福岡高速4号線	福岡市 東区箱崎心頭	福岡市 東区蒲田	4	60	6.9	887	平成3年度 ~ 平成19年度
福岡高速5号線	福岡市 博多区西月隈	福岡市 西区福重	4	80	18.1	2,375	平成10年度 ~ 平成24年度
福岡高速6号線	福岡市 東区香椎浜	福岡市 東区みなと香椎	4	60	2.5	176	平成28年度 ~ 平成32年度
合計					59.3	8,823	

(※) 80km/hr (金の隈～水城)、60km/hr (左記区間以外)  
・事業費は一般管理費等を含む。

## 料金認可

料 金：普通車 620 円 大型車 1,230 円  
認可年月日：2014 年（平成 26 年）3 月 5 日  
換算起算日：1998 年（平成 10 年）9 月 13 日  
償還終了日：2045 年（平成 57 年）8 月 20 日 [換算起算日から 47 年]

※「換算起算日」とは、これまでの開通区間の事業費を勘案したネットワーク全体の平均的な開通日

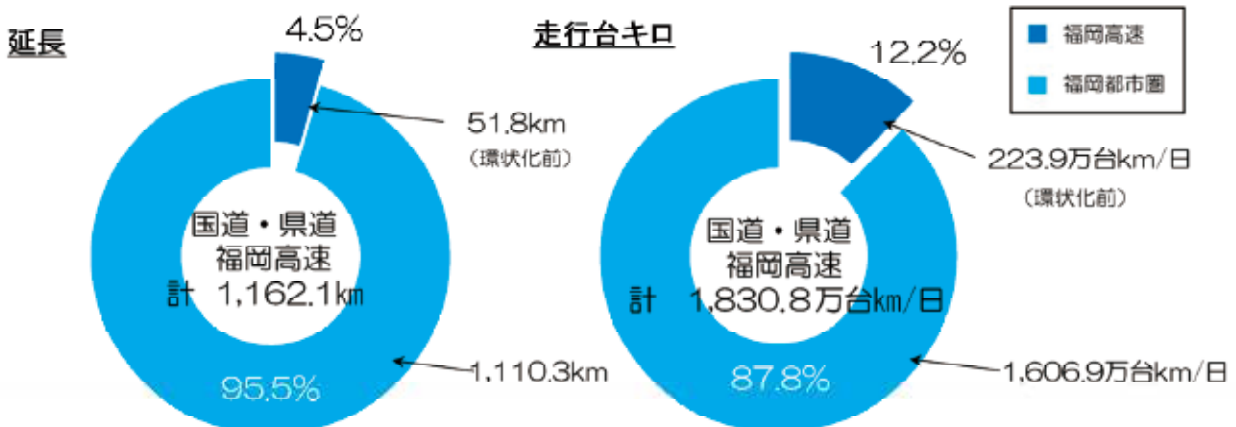
## 役割

福岡都市圏における放射環状道路網の枢要を担う自動車専用道路であり、市街地の渋滞緩和のみならず、九州自動車道や西九州自動車道と接続すること等により北九州方面や佐賀方面、熊本方面とのアクセス向上にも大きく寄与しています。



### 福岡高速は一般道路の約 3 倍の交通を分担

福岡高速の道路延長は福岡都市圏全体の 4.5%にとどまるが、走行台キロは 12.2%を占めております。福岡都市圏の一般道路における 1km あたりの走行台数と比べた場合、約 3 倍の交通を支えています。



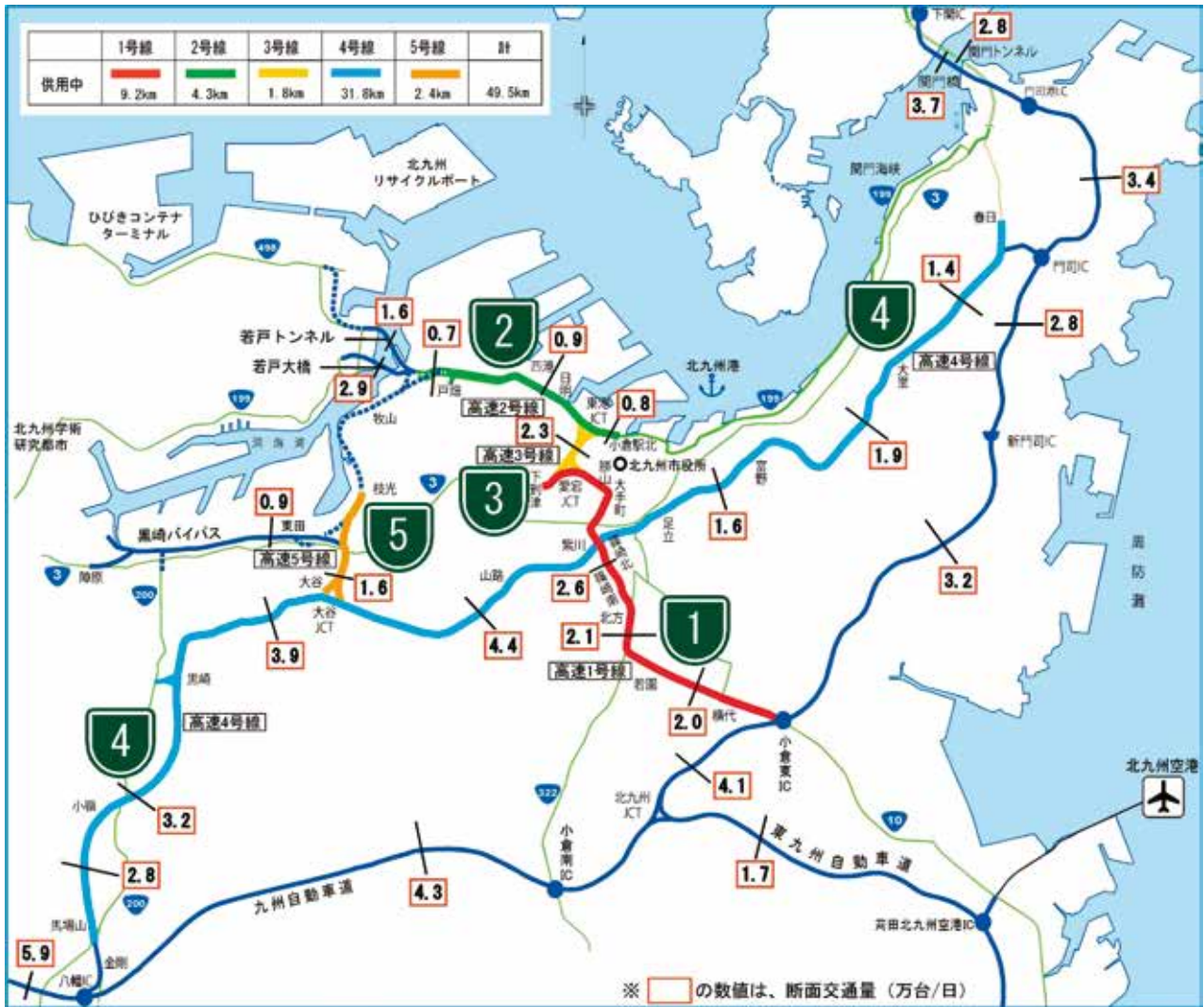
※福岡都市圏：福岡市、筑紫野市、春日市、大野城市、宗像市、太宰府市、古賀市、福津市、糸島市、那珂川町、宇美町、篠栗町、志免町、須恵町、新宮町、久山町、粕屋町

※走行台キロとは 1 日の断面交通量に延長を掛けた数値、平成 22 年度道路交通センサスを基に算出

## 2) 北九州高速道路

### 路線図・交通量

北九州高速の道路延長は49.5kmで、平成27年度の通行台数は89,364台/日となっています。



### 整備計画

路線名	起点	終点	車線数	設計速度(km/hr)	延長(km)	事業費(億円)	工期
北九州高速1号線	北九州市小倉南区長野	北九州市小倉北区下到津	4	60	9.2	1,078	昭和46年度～平成20年度
北九州高速2号線	北九州市小倉北区許斐町	北九州市戸畑区大字戸畑	4	60	4.3	479	昭和47年度～平成20年度
北九州高速3号線	北九州市小倉北区菜園場	北九州市小倉北区東港	6	60	1.8	202	昭和47年度～平成11年度
北九州高速4号線	北九州市門司区春日町	北九州市八幡西区茶屋の原	4	60・80(※)	31.8	1,291	平成2年度～平成20年度
北九州高速5号線	北九州市八幡東区東田	北九州市八幡東区神山町	4	60	2.4	550	平成10年度～平成20年度
合計					49.5	3,600	

(※) 80km/hr(黒崎～馬場山)、60km/hr(左記区間以外)  
 ・事業費は一般管理費等を含む。

北九州高速4号線は、平成3年3月に日本道路公団(現NEXCO)から引き継いだ路線です。

## 料金認可

料 金：普通車 510円 大型車 1,030円

認可年月日：2014年（平成26年）3月 5日

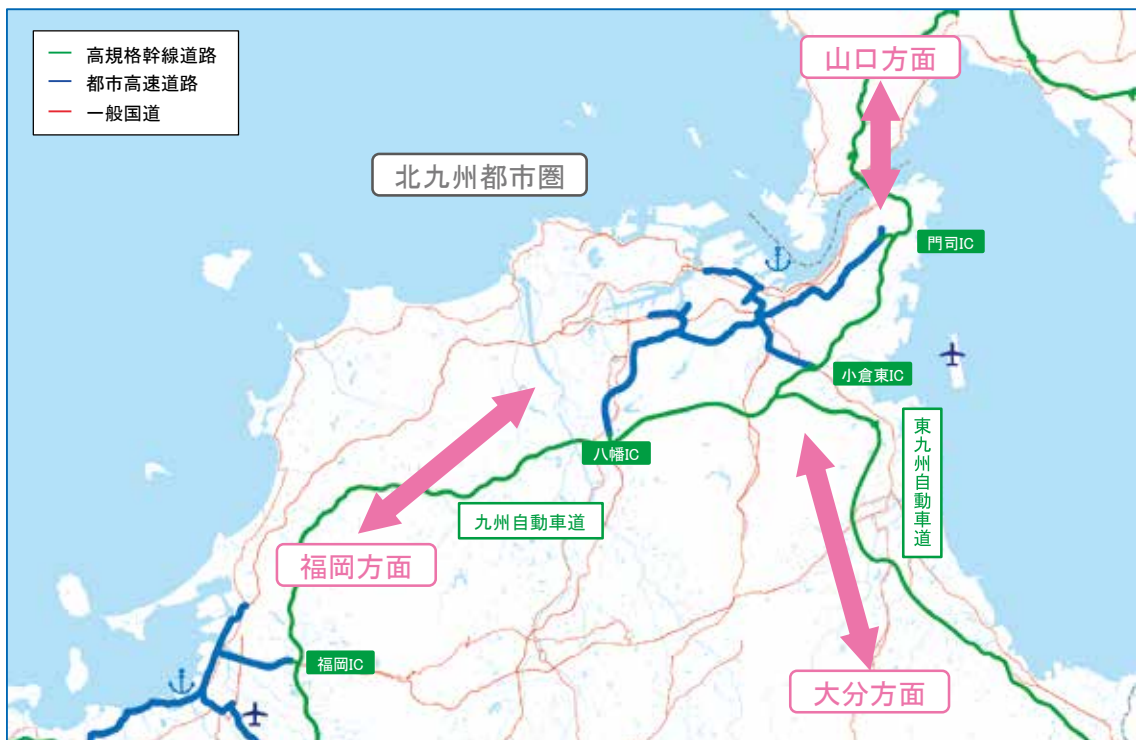
換算起算日：1993年（平成 5年）7月 14日

償還終了日：2043年（平成55年）7月 12日 [換算起算日から50年]

※「換算起算日」とは、これまでの開通区間の事業費を勘案したネットワーク全体の平均的な開通日

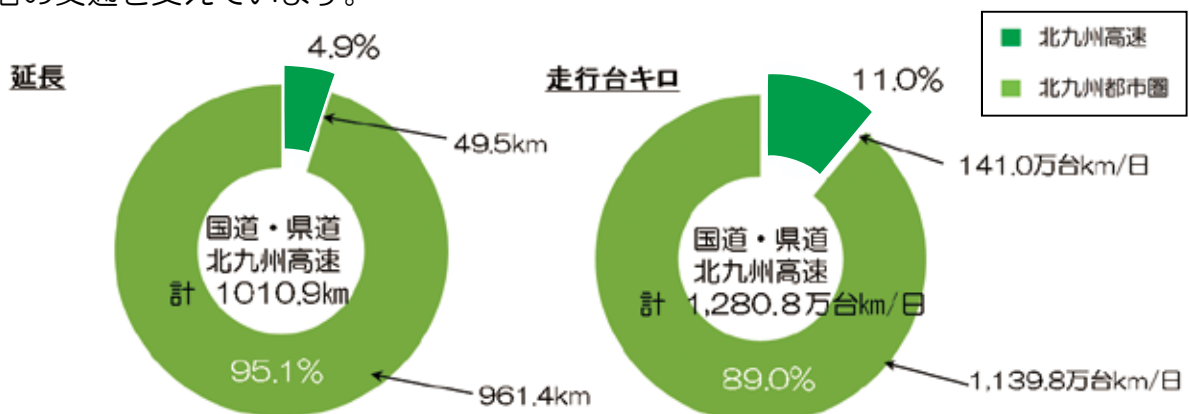
## 役割

北九州都市圏における放射環状道路網の枢要を担う自動車専用道路であり、市街地の渋滞緩和のみならず、九州自動車道と接続すること等により福岡方面や大分方面、山口方面とのアクセス向上にも大きく寄与しています。



### 北九州高速は一般道路の約2倍の交通を分担

北九州高速の道路延長は北九州都市圏全体の4.9%にとどまるが、走行台キロは11.0%を占めております。北九州都市圏の一般道路における1kmあたりの走行台数と比べた場合、約2倍の交通を支えています。

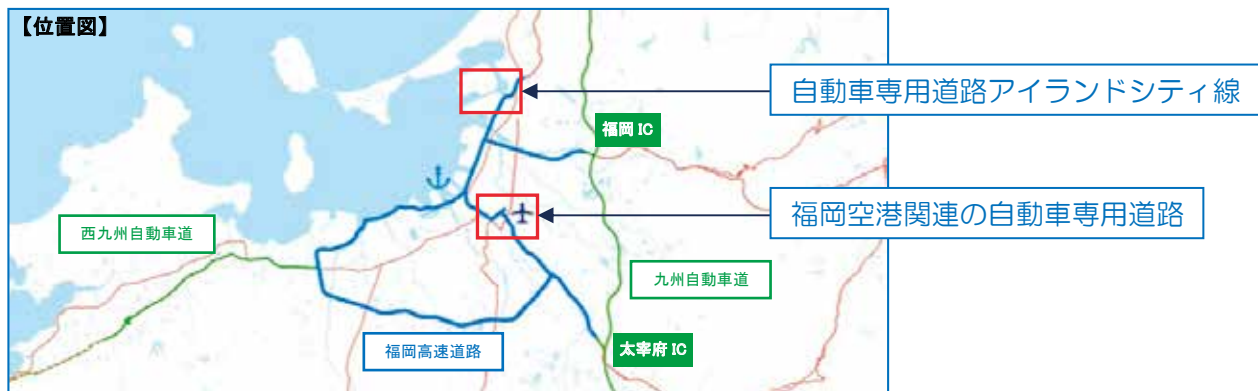


※北九州都市圏：北九州市、行橋市、豊前市、中間市、芦屋町、水巻町、岡垣町、遠賀町、苅田町、みやこ町、築上町

※走行台キロとは1日の断面交通量に延長を掛けた数値、平成22年度道路交通センサスを基に算出

## 2 ネットワーク機能の強化

### 1) 福岡高速のネットワーク

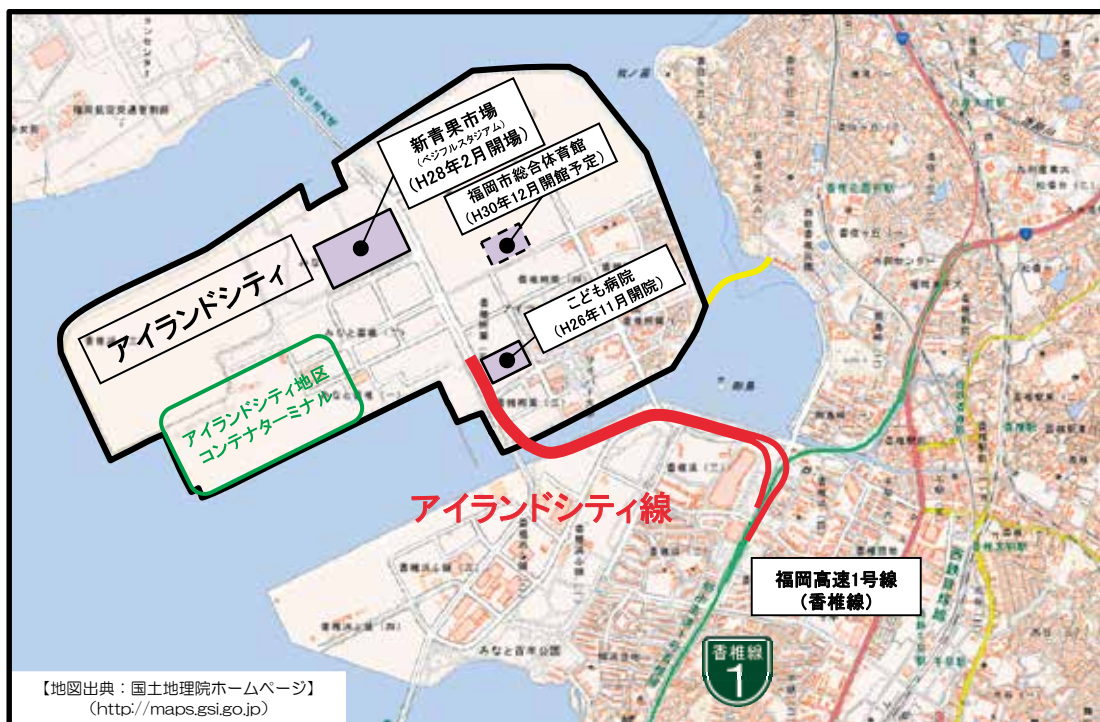


### 自動車専用道路アイランドシティ線

アイランドシティ線（福岡高速6号線）は、福岡高速1号線とアイランドシティ地区を結ぶ自動車専用道路です。福岡市東部地域全体の交通需要へ対応するとともに、福岡高速道路を介して、九州自動車道及び西九州自動車道に直結されることにより、国際拠点港湾である博多港（アイランドシティ地区）と九州各地を結ぶ広域的な交通ネットワークを形成するものであり、今年度より事業着手し、整備を推進してまいります。

#### 【計画概要】

- ①延長：2.5 km
- ②幅員：19m
- ③車線数：4車線





## 福岡空港関連の自動車専用道路

福岡空港の滑走路増設など機能強化にあわせ、福岡市南部地域や太宰府 IC 方面からの国内線旅客ターミナルへのアクセス改善と、国道3号福岡南バイパス空港口交差点の混雑緩和を図るため、福岡高速3号線の延伸に伴う都市計画法及び環境影響評価法に基づく手続きが進められています。



## 2) 北九州高速のネットワーク



都市基盤と国際物流ネットワーク機能の強化を図るため、北九州高速道路に繋がる自動車専用道路網の整備が着実に進められています。

黒崎バイパスとの接続により、北九州西部及び遠賀・宗像方面の利便性が大きく向上しました。

## 北九州都市圏の自動車専用道路ネットワークの整備状況

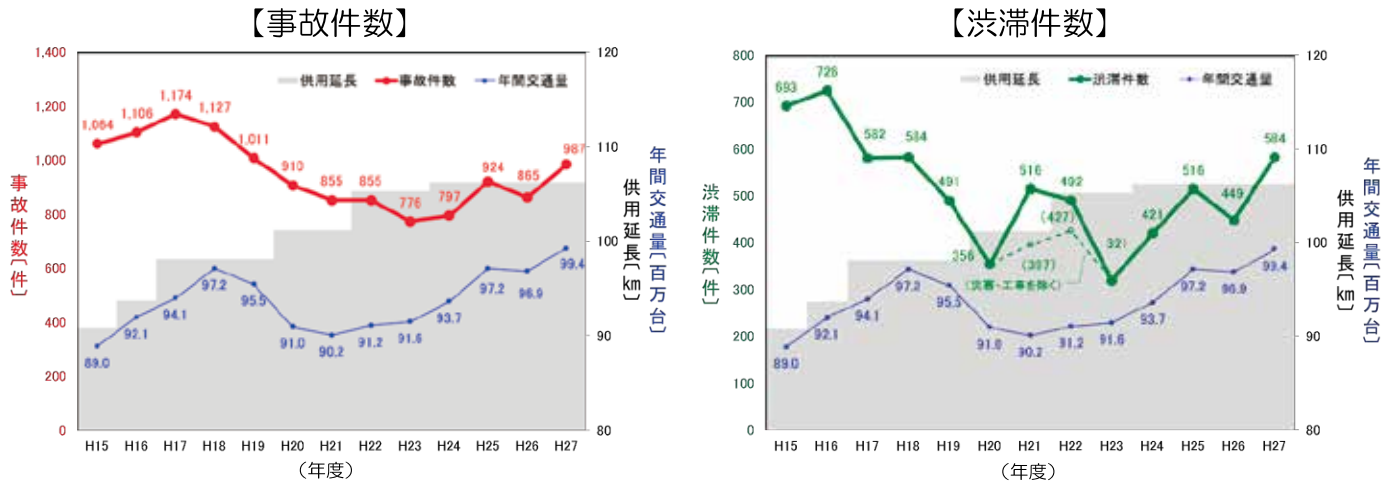


### 3 安全・快適なサービスの提供

#### 1) 事故・渋滞対策

##### (1) 事故・渋滞件数の推移

福岡・北九州高速の事故・渋滞の状況については、これまでの安全対策や道路ネットワークの構築により、減少傾向でしたが、近年の交通量増加等に伴い、前年度から平成27年度は増加しています。



※渋滞：走行速度20km/h以下で車列長0.5km以上の状態が30分以上継続した場合（事故に伴う渋滞を含む）

※（ ）は、下記の影響を除いたもの  
 H21：九州道土砂災害の影響（7/26～8/12）  
 H22：九州道向佐野橋大規模リフレッシュ工事の影響（9/1～11/21）

##### (2) 過去の主な取り組み

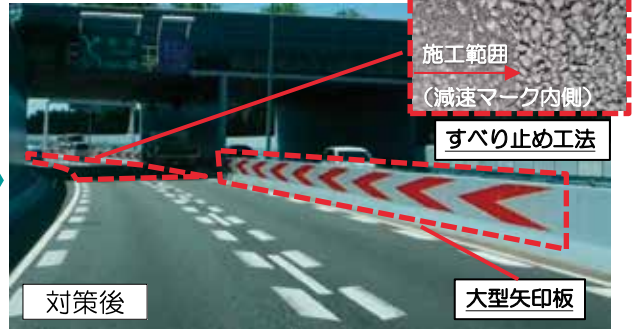
	対策事例①【北九州高速】 枝光カーブ	対策事例②【北九州高速】 黒崎出口合流部付近	対策事例③【福岡高速】 貝塚JCT 2車線化
対策内容	<b>【スリップ事故対策】</b> ・舗装面にグルーピング施工 →グリップ力の向上 ・減速マークの設置 →減速注意喚起	<b>【速度抑制対策】</b> ・路面段差設置やポストコーン設置 →減速注意喚起 ・舗装面にグルーピング施工 →グリップ力の向上	<b>【渋滞対策】</b> ・既存1車線から2車線に変更 →交通容量の増加
対策前			
対策後			

\*グルーピング：舗装面に浅い溝を複数均等に切ること、雨天時の水をけを良くし路面とタイヤのグリップ力を高める効果が期待されます。  
 減速マーク：車線の内側に一定間隔でマーキングを配置し、走行車線を一時的に狭く見せることにより、運転者が無意識に速度を下げることを期待した対策です。

(3) 平成27年度の主な取り組み

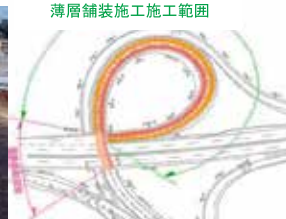
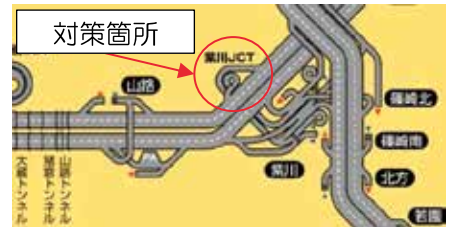
■ 対策事例① 環状線内回り（百道カーブ）【福岡高速】

【対策背景】  
 ・速度超過及び操作不適當による事故が多い  
 【対策内容】  
 ・すべり止め工法の適用（耐すべり性能の向上）  
 ・高輝度大型矢印板の延長（速度抑制）



■ 対策事例② 紫川JCT（Bランプ）【北九州高速】

【対策背景】  
 ・前方不注意及び安全不確認による施設接触事故が多い  
 【対策内容】  
 ・すべり止め工法の適用（耐すべり性能の向上）  
 ・舗装の更新（視線誘導の向上）



■ 対策事例③ 逆走防止対策 【福岡高速】 【北九州高速】

【対策背景】  
 ・平成27年4月に半道橋出口からの逆走車両事故が発生。  
 ・過去10年間に逆走の複数回発生や事故発生箇所を抽出。  
 <対象箇所> 福岡高速：半道橋出口、水城出口、百道西出口、千鳥橋JCT、福重JCT、豊JCT  
 北九州高速：足立出口、大谷出口  
 【対策内容】  
 ・路面矢印の標示、規制標識・注意喚起看板の標示 ・ラジオCMによる注意喚起 等

■ 【福岡高速】千鳥橋JCT



■ 【福岡高速】半道橋出口



■ 【北九州高速】大谷出口



## 2) 交通情報提供サービス

### 交通管制

交通管制室では、交通監視カメラや非常電話などにより異常事態の有無、道路状況、気象状況などの情報を収集し、情報板や路側放送、VICS\*などによりお客様に情報提供しております。

また、異常事態発生時には、パトロールカーを現場に急行させ、事態の処理に関して適切な措置をとるよう指示するとともに、必要に応じて消防車、救急車などの出動要請などを行っています。



交通管制室

※VICS：Vehicle Information and Communication Systemの略称

渋滞や交通規制などの道路交通情報をリアルタイムに送信し、カーナビゲーションなどの車載機に文字・図形で表示する情報通信システムのことをいう。

### 交通パトロール

都市高速道路を定期または臨時に巡回し、事故や故障車の有無などの交通の状況、落下物や道路損傷の有無などの道路の状況、気象状況などの情報を収集しています。

また、異常事態が発生した場合は現場に急行し警察とともに事故への対応、落下物の排除、故障車などへの対応を行い、さらに台風や大雨、積雪、凍結、地震時には交通規制を行っています。



落下物処理

(参考-H27年度実績)

落下物対応：約7,500件

故障車対応：約1,800件

事故対応等：約1,200件

### 情報収集・情報提供機能

#### 情報収集機能

高速道路上に設置された各種センサからの検知結果を集計し、発生している交通状況及び気象状況を収集しています。



#### ◎本線車両感知器

交通量、速度などの車両通行状況を収集しています。



#### ◎非常電話

受話器を取ると、管制室に着信され、通報場所が管制パネルに表示されます。



#### ◎監視用テレビカメラ

高速道路上を監視カメラで撮影し、管制室のモニターに表示しています。



#### ◎気象観測装置

風向・風速、気温、路面温度、雨量、路面状況を収集しています。

#### 情報提供機能

道路情報板、VICSなど様々な提供媒体を通して、利用者に一元化した情報提供を行っています。



#### ◎入口情報板

料金所入口の文字情報板にて道路交通情報を提供しています。

### 3) お客様の利便性向上

#### 都市高速をより分かりやすくするための便利ツール

##### ◆イラスト地図「スイスイマップ」

都市高速における乗り降りの間違い、またジャンクション部の方向間違いなどを減らし、より便利で身近な道路として活用していただくため、イラスト地図「スイスイマップ」を作成、配布しています。

主な  
設置箇所

- 都市高速の全ての料金所
- 都市高速周辺の大型商業施設
- 関係庁舎
- 主要観光施設及び観光案内所
- 自動車販売店及び自動車関連商品販売店
- レンタカー会社
- 自動車学校
- 道の駅
- SA (サービスエリア)、PA (パーキングエリア) など

※詳しい設置箇所は、ホームページで確認できます。  
(「観光情報」の「マップ案内」から)



(大型商業施設の設置例)

##### ◆「ハイウェイテレホン」

- 通行止や渋滞、平均所要時間などの道路状況を音声及び文字にてご案内いたします。
- 道路情報は約 5 分おきに更新されます。

聞く！ 音声にてご案内しています。

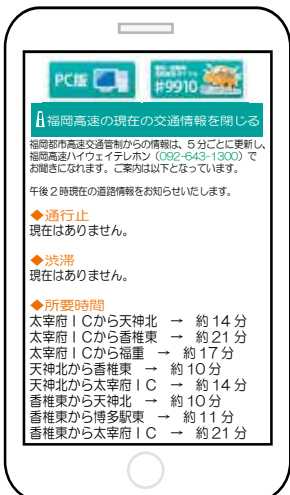
福岡高速ハイウェイテレホン (自動音声) ☎092-643-1300

北九州高速ハイウェイテレホン (自動音声) ☎093-931-1400

見る！ 文字にてご案内しています。

スマートフォンや携帯電話からアクセスできます。

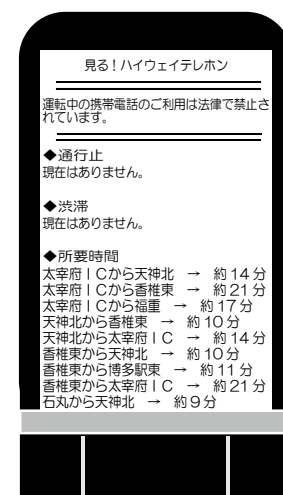
##### スマートフォンサイトイメージ



スマートフォンサイト  
はこちらから



##### 携帯電話サイトイメージ



携帯サイト  
はこちらから



- 情報料は無料ですが、別途通信費がかかります。
- 運転中の携帯電話のご利用は法律で禁止されています。

## お客様からのご意見に対応した取り組み

より利用しやすい都市高速を目指し、お客様から頂いたご意見・ご要望をもとに、サービス向上に向けた取り組みを行っています。



### ◆改善事例

- |       |   |
|-------|---|
| お客様の声 | 都市高速は、JCT（ジャンクション）や出口が分かりにくい  |
| 対応    | スイスイマップ内に、分かりにくいと言われるJCT（ジャンクション）の形状を、運転者の目線で立体的に表示する「ドライバズビュー」を採用しました。 |

### 福岡高速 月隈JCT（ジャンクション）

JCT（ジャンクション）拡大図

### ドライバズビュー

立体的表示を追加

### 北九州高速 紫川JCT（ジャンクション）

JCT（ジャンクション）拡大図

### ドライバズビュー

立体的表示を追加

（平成28年2月実施）

## 4 安心のための維持管理

### 1) 点検と維持補修

都市高速道路の安全かつ円滑な交通を保持するためには、道路を常に良好な状態に保つ必要があります。そのため、各種施設・構造物の点検・維持補修を行い、路面・料金所施設の清掃及び構造物・施設の適切な補修を行っています。

#### 点検

点検は道路維持管理の出発点です。定期的なきめ細かな点検を行い損傷箇所の早期発見に努めています。



橋梁点検車・高所作業車による近接点検



路下徒歩点検

#### 維持補修

発見された損傷箇所は点検判定に基づき補修・補強工事を行っています。



舗装補修



橋梁ジョイント補修



事故対応



緊急補修対応

#### 緊急事象への対応

路面の損傷や交通事故による施設の損傷、落下物の回収をはじめとする高速道路上でのあらゆる緊急事象に対し、24時間365日体制で臨んでいます。

#### 道路清掃

お客様に安全に走行していただくため道路全線にわたる路面清掃、より快適にご利用いただくためパーキングエリア等の道路施設の清掃を定期的に行っています。



路面清掃



パーキングエリアの清掃



除雪作業



#### 積雪・凍結対策の取組み

冬季にお客様に安心・安全に走行して頂くよう、積雪・凍結対策を行っています。

## 2) 老朽化・予防保全対策

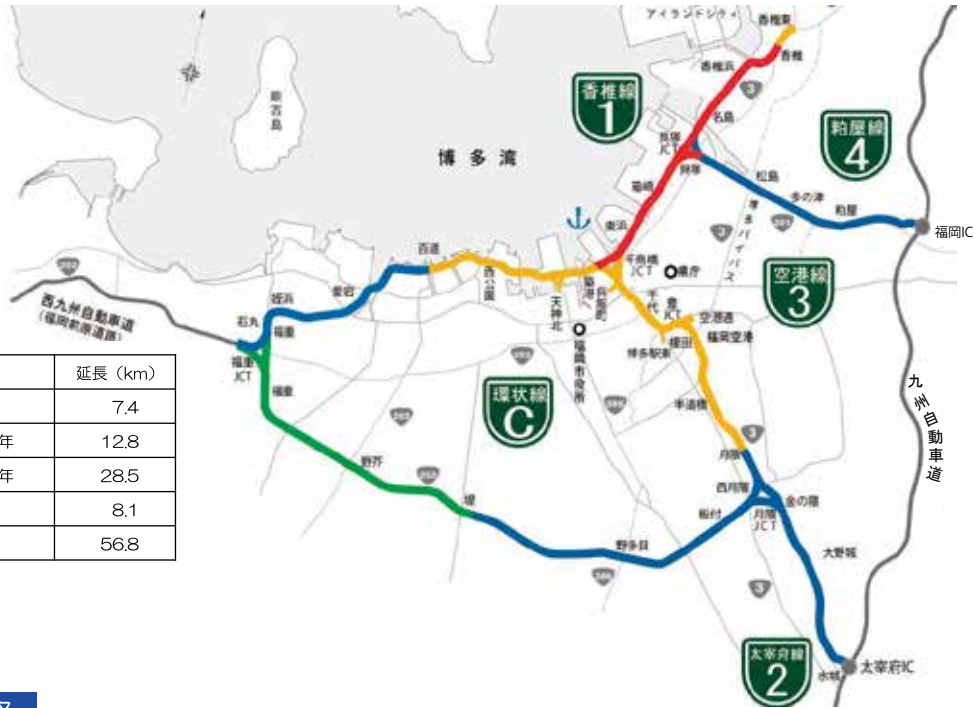
福岡高速・北九州高速ともに供用から30年以上経過した路線が増えており、海沿いの路線や交通量の多い区間を中心に損傷の発生が増加傾向にあります。今後、このような過酷な供用条件にある橋梁については、経年的に損傷は増え続けていくため、道路を健全な状態に保つための対策を行っています。

### 福岡高速道路

福岡高速では、料金認可（H24.7.10）により老朽化・予防保全対策として約630億円の追加投資が決定しており、H24～H43の20年間で劣化したコンクリート部の剥落対策や床版の補強、鋼部材の塗装補修などを進めています。

凡例	供用年数	延長 (km)
<span style="color: red;">■</span>	30年以上	7.4
<span style="color: orange;">■</span>	20年～29年	12.8
<span style="color: blue;">■</span>	10年～19年	28.5
<span style="color: green;">■</span>	10年未満	8.1
	合計	56.8

平成28年4月1日現在

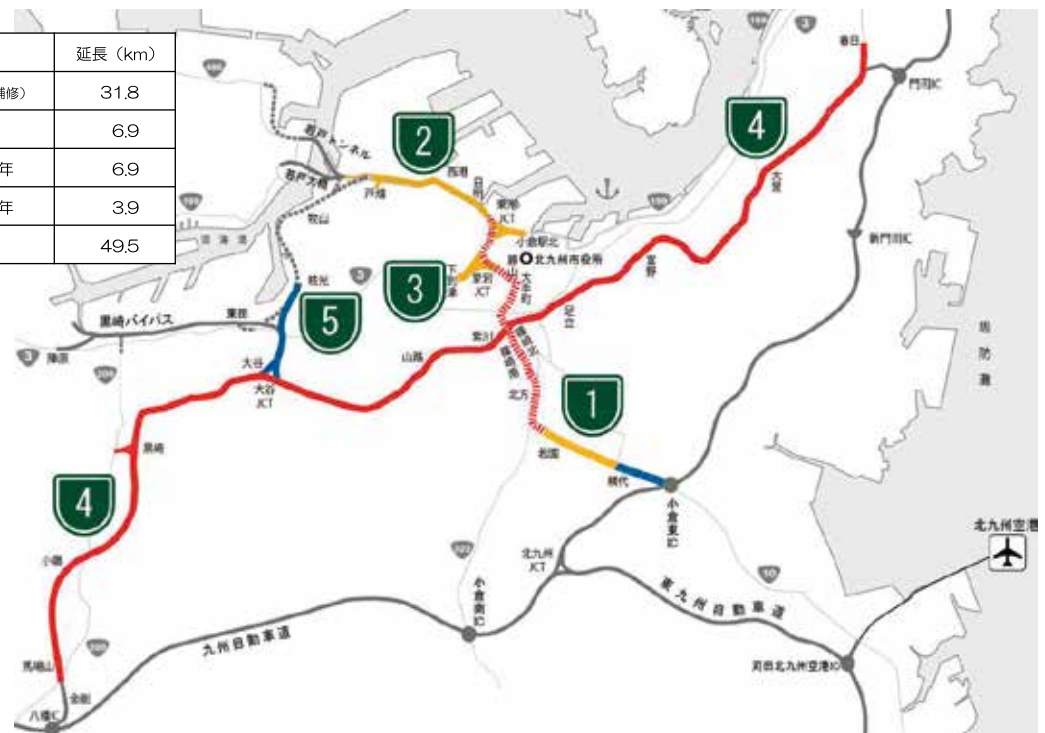


### 北九州高速道路

北九州高速では、H15～H20年度に4号線の橋梁、トンネル、付属物の老朽化対策として大規模補修事業（約245億円）を実施しました。その他の路線についても舗装補修（橋面防水工含む）や、しゃ音壁の補修などを進めています。

凡例	供用年数	延長 (km)
<span style="color: red;">■</span>	30年以上 (大規模補修)	31.8
<span style="color: red;">▨</span>	30年以上	6.9
<span style="color: orange;">■</span>	20年～29年	6.9
<span style="color: blue;">■</span>	10年～19年	3.9
	合計	49.5

平成28年4月1日現在





## 【H27年度の実施状況】

### 福岡高速道路

平成24年度より香椎線（香椎～築港）を中心に老朽化・予防保全対策を進めています。

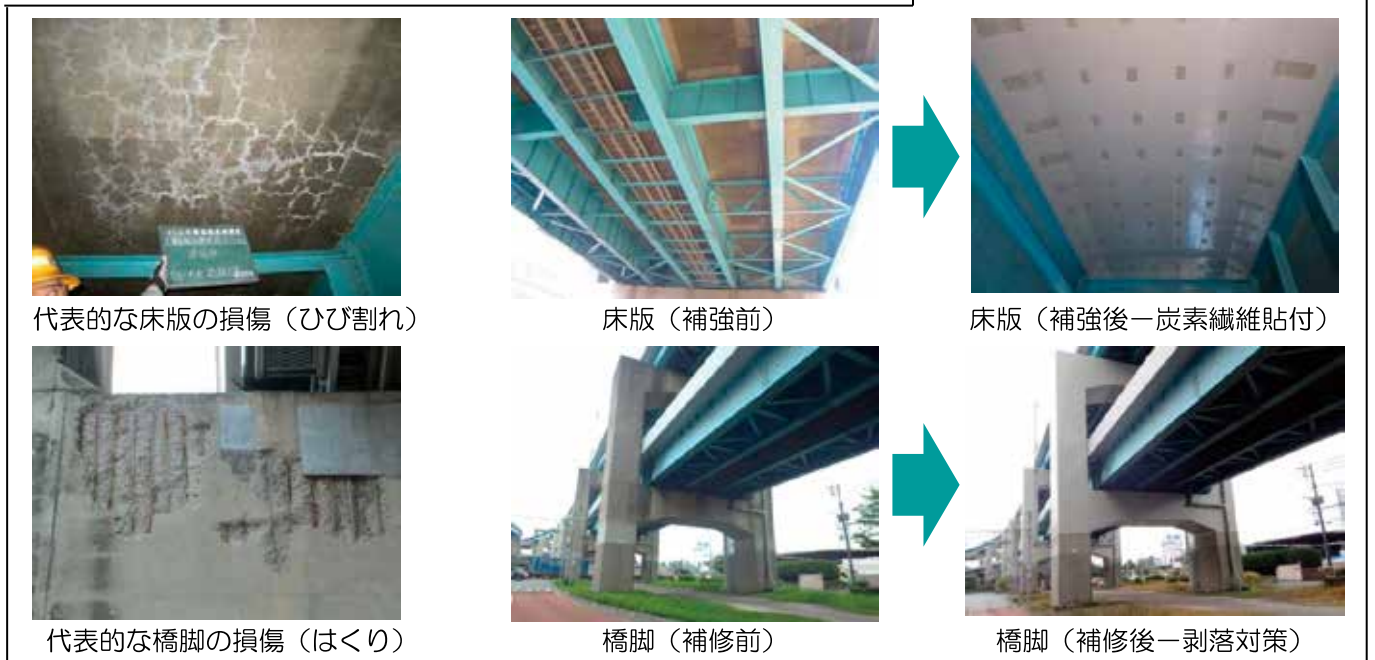
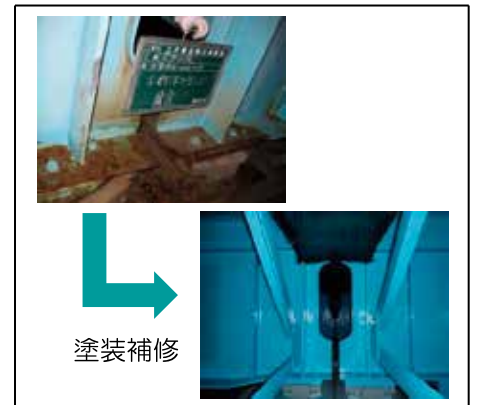
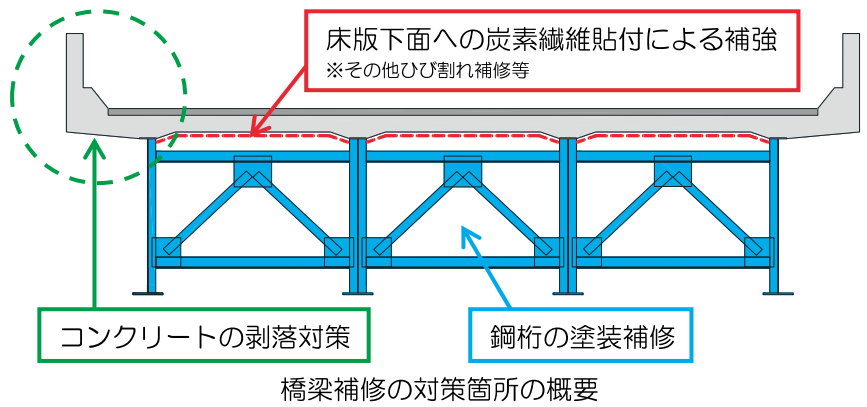
＜当該エリアの損傷状態＞

- ・供用から長年経過し、利用交通量も多いため、橋梁の老朽化が進んでいます。
- ・沿岸部付近の路線であるため、塩害の影響による早期劣化がみられます。

#### 老朽化・予防保全工事における具体策の事例

- ・ひび割れの補修、はくり・鉄筋露出部の断面修復及びコンクリート部の剥落対策
- ・保護塗装によるコンクリート橋脚の天端防水
- ・床版下面への炭素繊維貼付による補強
- ・鋼桁の塗装補修

（桁端部は腐食が進行しやすいため、高品質な素地調整を採用した上で塗装補修を実施しています。）



### 北九州高速道路

北九州高速3号線（愛宕JCT～東港JCT）で劣化したしゃ音壁の更新を行っています。



代表的なしゃ音壁の損傷（腐食）



しゃ音壁（補修前）



しゃ音壁（補修後—取替更新）

# 5 信頼される事業運営

## 1) 料金収入・通行台数・供用延長の推移

### 福岡高速道路

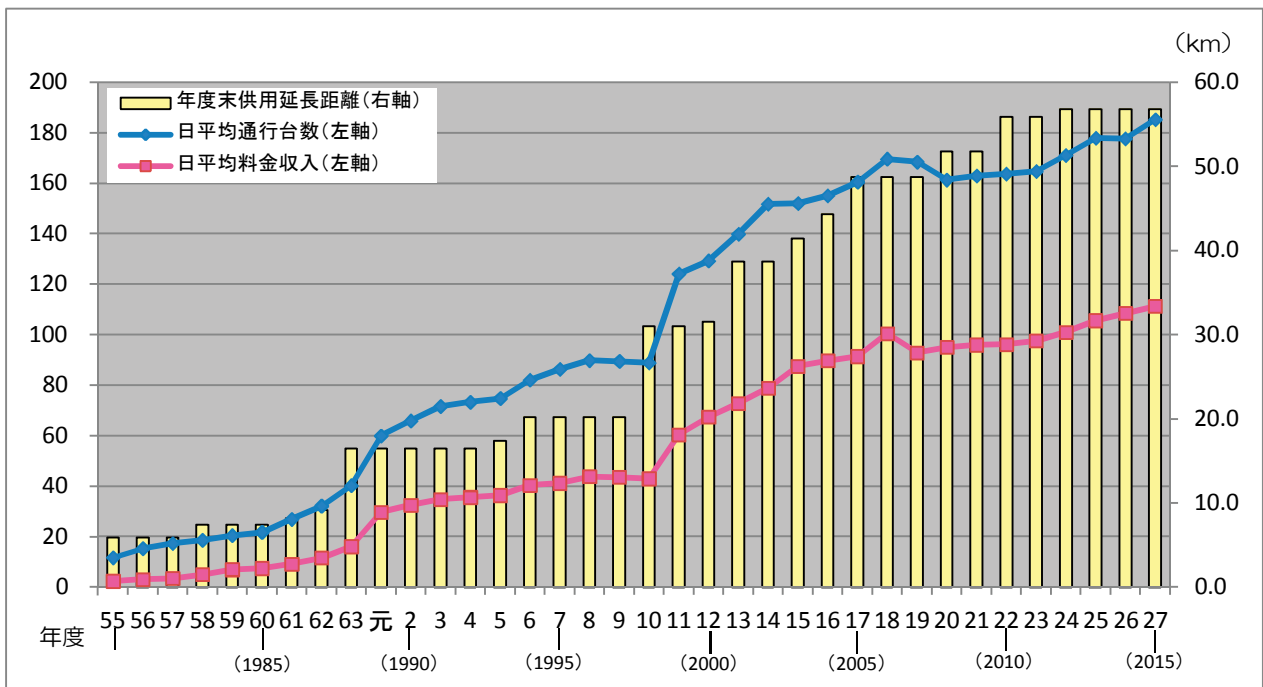
平成27年度

料金収入 407.3億円/年

日平均料金収入 1.11億円/日

日平均通行台数 182,155台/日

供用延長距離			
平成28年3月末現在 56.8km			
料 金			
普通車	620円	大型車	1,230円
E T Cの利用率 84.5% (H28.3月)			
(対前年同月比 +0.7P)			



供用区分	供用年月日 料金改定日	供用延長 (km)	普通車料金 (円)
1次供用	S55.10.20	ア 5.9	200
2次供用	S58.10.6	イ 7.4	350
3次供用	S61.4.23	ウ 8.2	
4次供用	S62.11.6	イ 9.2	
5次供用	S63.10.31	ウ 11.3	400
6次供用	H 1.3.4	イ 16.5	
	H 1.10.1	エ	500
7次供用	H 5.4.2	ウ 17.4	
8次供用	H 6.4.4	ウ 20.2	510
9次供用	H11.3.27	ウ 31.0	
	H12.3.28	エ	550
10次供用	H12.11.21	ウ 31.5	
11次供用	H13.10.13	ウ 36.8	600
12次供用	H14.3.10	ウ 38.7	
13次供用	H15.5.1	ア 41.4	620
14次供用	H16.6.27	ウ 44.3	
15次供用	H18.3.26	ウ 48.7	620
16次供用	H20.4.19	ウ 51.8	
17次供用	H23.2.26	ウ 55.9	620
18次供用	H24.7.21	ウ 56.8	
	H26.4.1	エ	620

(注1) ア：供用+同日料金改定、イ：供用+翌日料金改定  
ウ：供用のみ、エ：料金改定のみ

(注2) 大型車料金は、H1.10.1料金改定時（1,030円）及び  
H26.4.1料金改定時（1,230円）を除き、普通車の2倍

## 北九州高速道路

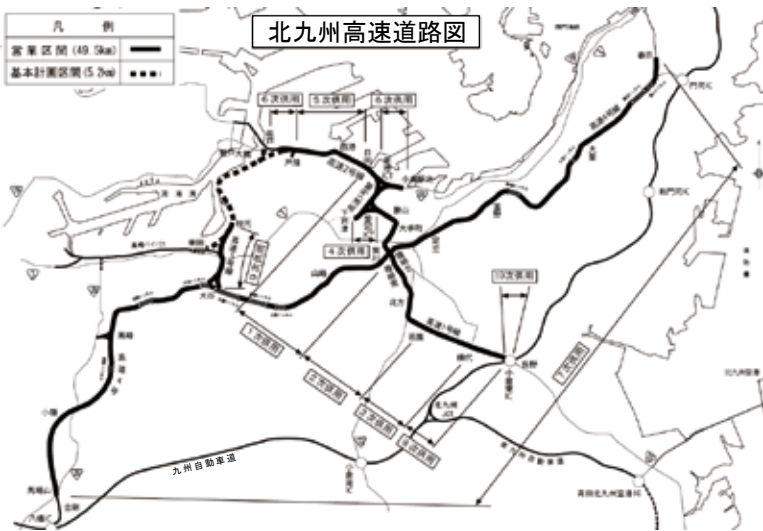
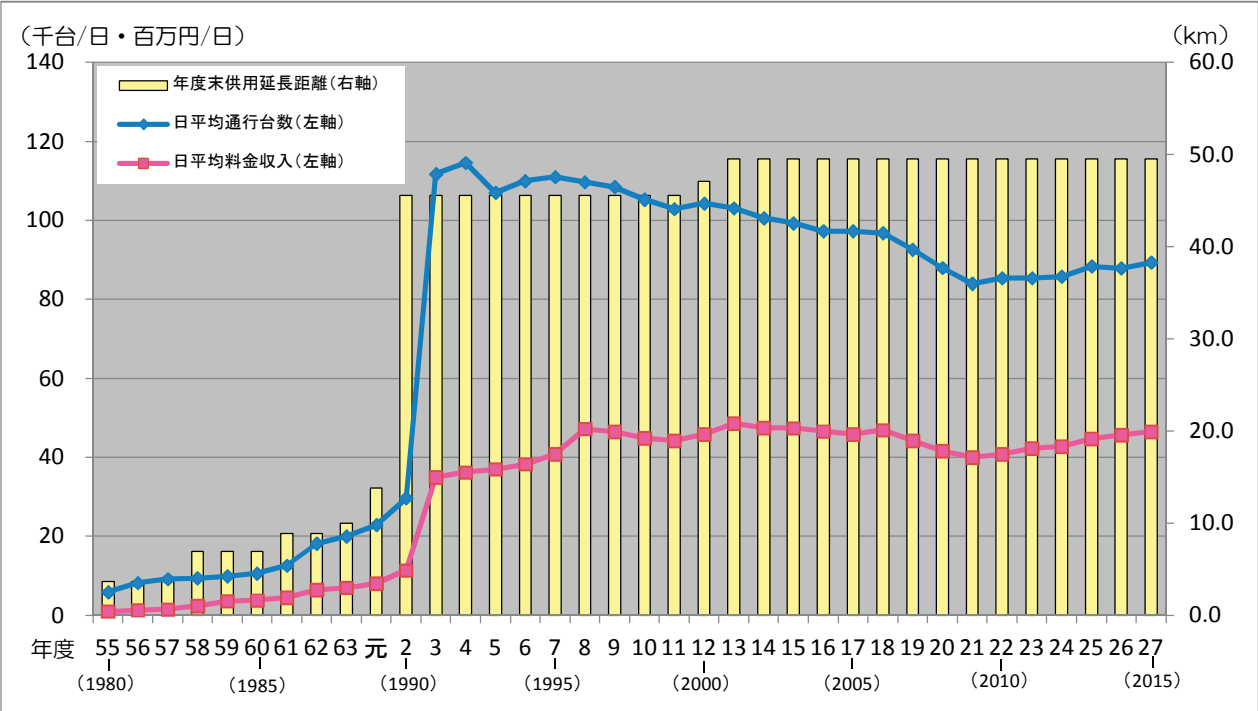
平成27年度

料金収入 170.2億円/年

日平均料金収入 0.46億円/日

日平均通行台数 89,364台/日

供用延長距離			
平成28年3月末現在 49.5km			
料 金			
普通車	510円	大型車	1,030円
E T Cの利用率 79.2% (H28.3月)			
(対前年同月比 +1.1P)			



供用区分	供用年月日 料金改定日	供用延長 (km)	普通車料金 (円)	
1次供用	S55.10.20	ア	3.7	150
2次供用	S58.10.6	イ	6.9	
3次供用	S61.12.2	ウ	8.9	
4次供用	S63.12.17	ウ	10.0	350
5次供用	H 1. 8.30	イ	12.8	
6次供用	H 2. 3.31	ウ	13.8	360 (注3)
7次供用	H 3. 3.31	ア	45.6	
	H 5. 4. 1	エ		
8次供用	H 7. 9.30	イ	47.1	450
	H12. 7.26	ウ		
9次供用	H12.11.1	エ	49.5	500
	H13. 7. 2	ウ		
10次供用	H18. 2.26	ウ	49.5	510
	H26. 4. 1	エ		

(注1) ア：供用+同日料金改定、イ：供用+翌日料金改定  
ウ：供用のみ、エ：料金改定のみ  
(注2) 大型車料金は、H26.4.1料金改定時（1,030円）を除き、普通車の2倍。  
(注3) H3.3.31からH5.3.31まで4号線は距離別料金。

## 2) 高架下駐車場

福岡高速道路及び北九州高速道路の高架下の有効利用として駐車場の運営管理を行っています。

区 分	施設数	契約台数	料金収入(百万円)
福 岡 駐 車 場	34ヶ所	約1,400台	122
北九州 駐 車 場	47ヶ所	約1,000台	94
計	81ヶ所	約2,400台	216

\* 箇所数及び契約台数は平成28年4月1日現在

\* 年間収入は平成27年度実績

### 3) 年度別収支の状況 (平成27年度)

#### 損益計算書の概要

(単位：億円)

	収 益			費 用					償還準備金繰入
	業務収入	業務外収益	計	道路管理費	一般管理費	業務外費用	損失補填引当金	計	
福岡・北九州高速道路	581.1	0.4	581.6	134.4	13.2	79.1	26.7	253.4	328.2
福岡高速道路	410.1	0.3	410.3	92.6	8.8	47.6	18.9	167.8	242.5
北九州高速道路	171.0	0.2	171.2	41.8	4.4	31.5	7.9	85.6	85.7

※ 端数処理の関係上、合計において合致しない場合があります。

#### 会計処理の特徴

公社では、財政状態や経営成績を明らかにするため、企業会計原則に準じた会計処理を行っています。  
 <根拠法令等> 地方道路公社法、同法施行規則、福岡北九州高速道路公社会計規程、同規程実施細則

#### 有料道路制度の会計の特徴は

- 有料道路事業制度は、借入金により道路を建設し、お客様からの料金収入により定められた期間内に償還し、償還完了後は無料開放する制度です。
- 毎年度の『収支差』（収入と費用の差）は全て投下資金（借入金）の償還に充当します。

#### 借入金の償還状況を適切に把握するために

- 公社は、利益を配当する義務がなく、法人税法上の公共法人であるため、法人税を課せられたりすることがなく、収支差の全てを償還に充当します。
- 有料道路事業制度では、無料開放を実現するとの観点から、借入金の償還状況を会計処理において適切に把握するため、新たな設備投資資金を積み立てるといった企業会計上一般に採用されている減価償却費を計上する方式は採用していません。

#### 償還準備金積立方式を採用

- 借入金の償還に充てられる各年度の『収支差』を『償還準備金繰入』として費用計上し、その累計額を『償還準備金』として負債に計上する方式を採用しています。
- 道路の資産を形成するのに要した費用を積み上げた『道路資産』と、借入金の返済に充てる『償還準備金』を対比することにより、償還状況が明確に把握できます。

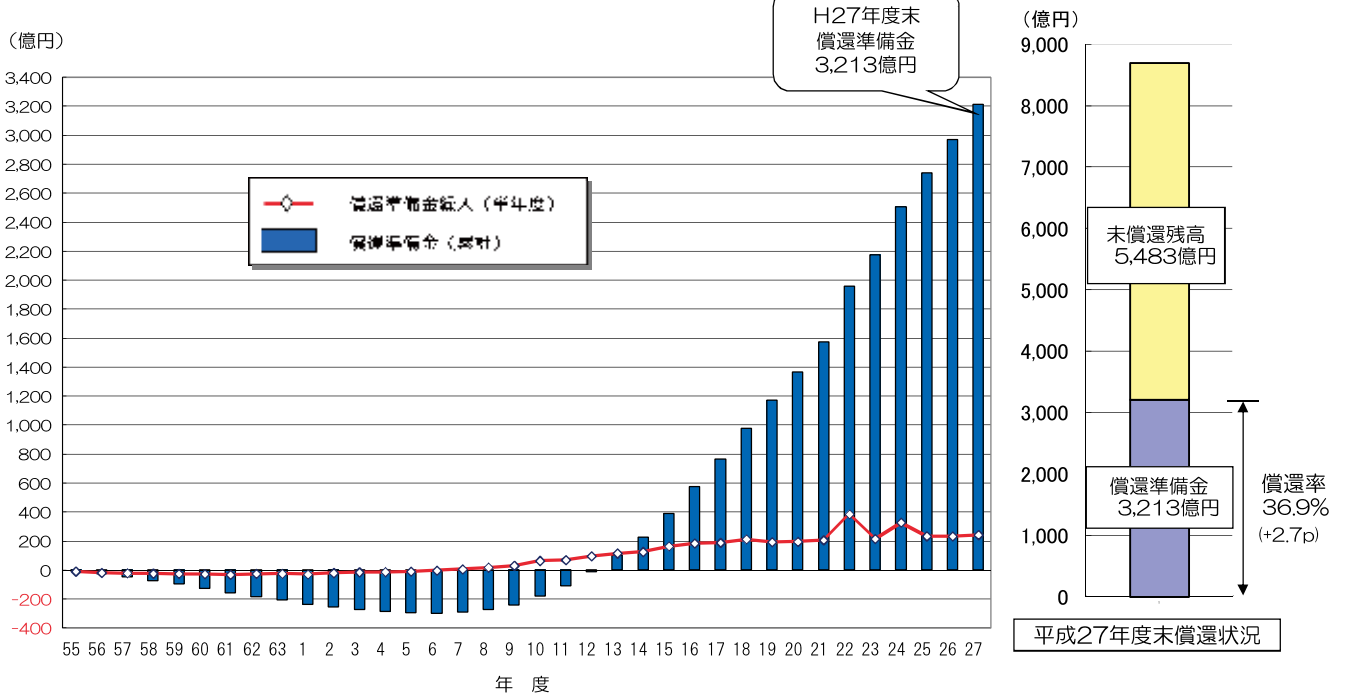
#### 償還準備金積み立て方式のしくみ



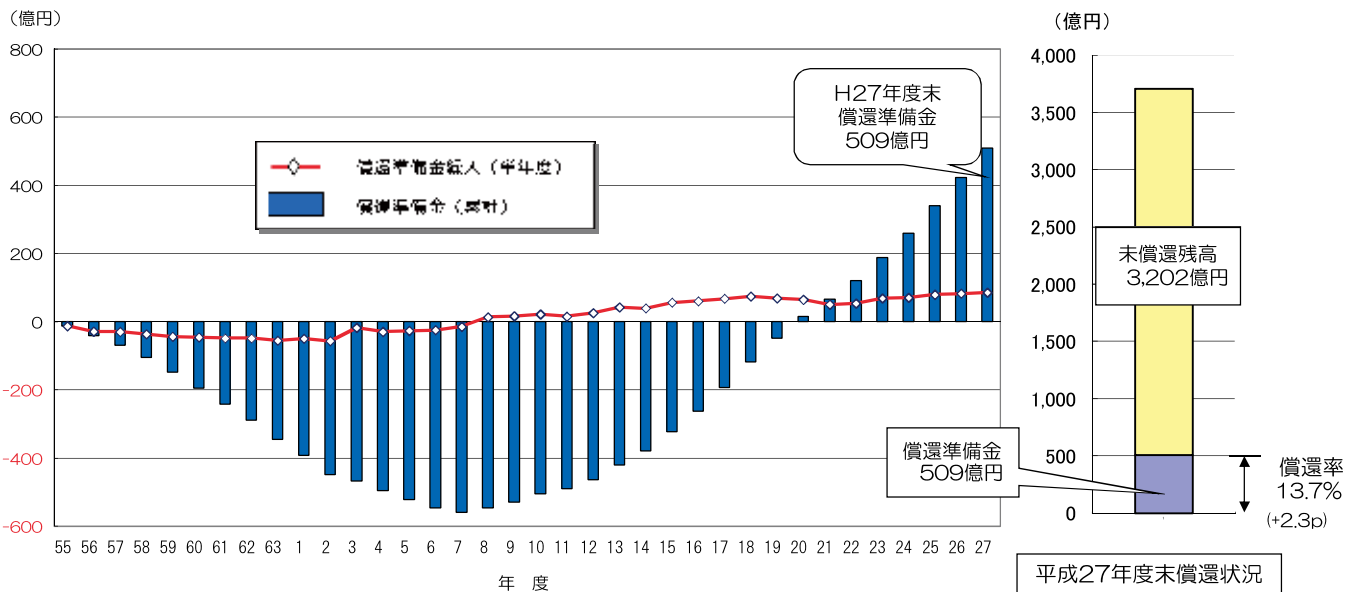
## 償還準備金の推移

- 平成27事業年度決算では、福岡高速、北九州高速ともに過去最高の償還準備金繰入を達成
- 償還準備金繰入は堅調に推移し、今後も着実に償還準備金積立を行う見通し

### 福岡高速道路



### 北九州高速道路

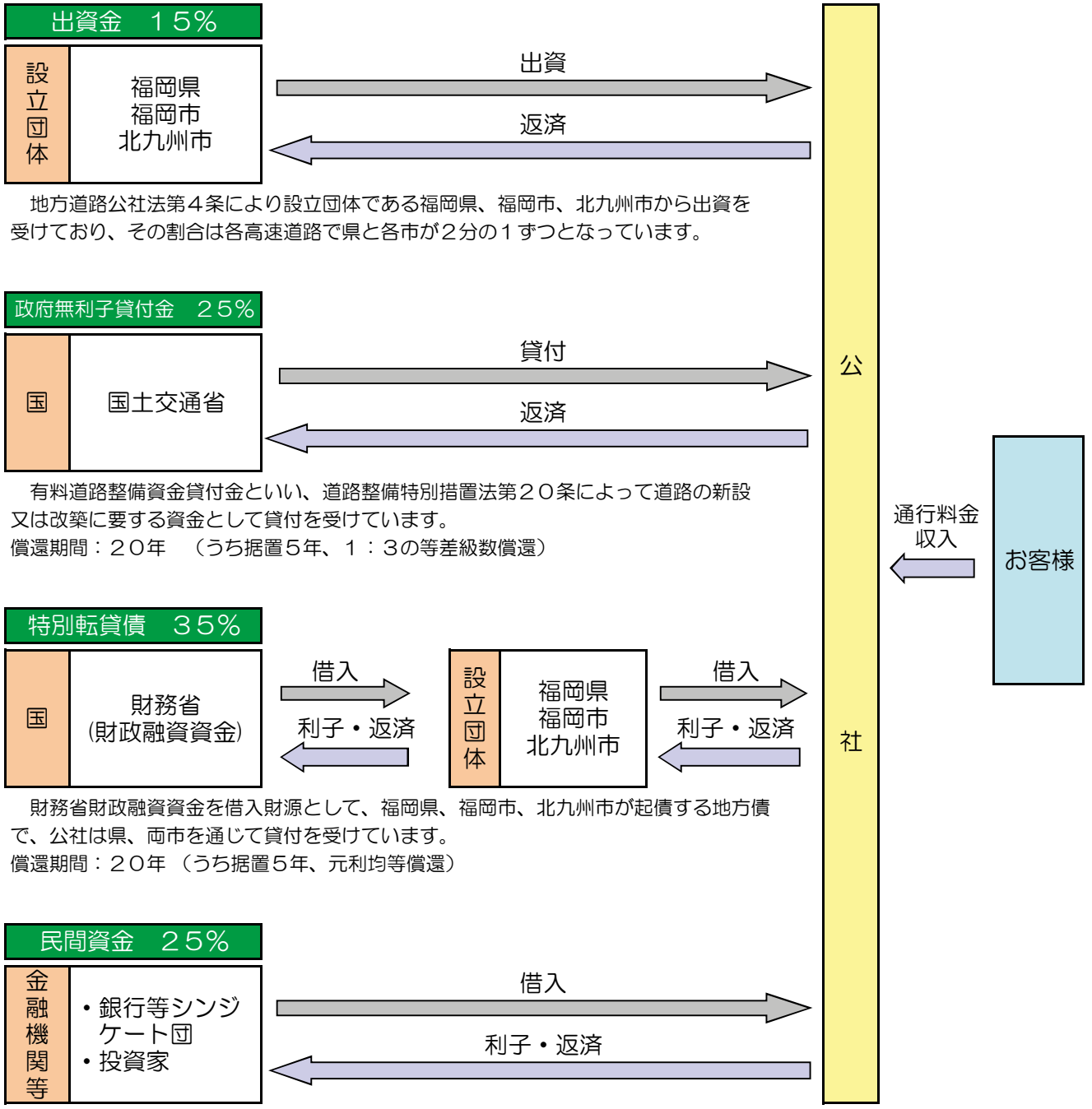


- (注1) 償還準備金繰入：収益から費用を差し引いた毎年度の収支差  
 (注2) 償還準備金：償還準備金の累計額  
 (注3) 償還率：償還準備金÷営業中道路の資産額

#### 4) 事業資金の調達と借入れ状況

##### 事業資金の構成と返済の流れ

高速道路の建設にかかる資金は、設立団体、国、金融機関等からの出資金や借入金等で調達し、これを通行料金収入で一定期間内に返済する制度となっています。



地方道路公社法第4条により設立団体である福岡県、福岡市、北九州市から出資を受けており、その割合は各高速道路で県と各市が2分の1ずつとなっています。

有料道路整備資金貸付金といい、道路整備特別措置法第20条によって道路の新設又は改築に要する資金として貸付を受けています。

償還期間：20年（うち据置5年、1：3の等差級数償還）

財務省財政融資資金を借入財源として、福岡県、福岡市、北九州市が起債する地方債で、公社は県、両市を通じて貸付を受けています。

償還期間：20年（うち据置5年、元利均等償還）

当公社は、債券の発行等によって民間から資金を調達しています。

債券の銘柄は「福岡北九州高速道路債券」といい、地方道路公社法第28条により福岡県、福岡市、北九州市からの債務保証によって、より一層の信用力が付与されています。

債券は、昭和46年度から銀行等引受債で調達してきましたが、これに加え平成12年度から証書借入、平成16年度から公募債発行による資金調達を行い、これらの資金を道路建設事業（助成対象）や、その借換資金（助成対象外）に充当しています。

償還期間：5年、10年、15年、20年（満期一括償還、5年の一部は定時償還）

（注）財源構成比率は、通常の指定都市高速道路建設の財源割合を示しています。

## 事業資金の借入れ状況

【全体】

(単位：億円)

	H26年度末 借入金残高 A	H27年度 借入額 B	H27年度 償還額 C	H27年度末借入金残高		
				計 A+B-C	構成比 %	
出資金	2,213	0	0	2,213	26.3%	無利子 (39.7%)
無利子貸付金	1,283	0	154	1,129	13.4%	
特別転貸債	981	0	119	862	10.2%	
金融機構資金	87	0	10	76	0.9%	有利子 (60.3%)
民間資金	助成対象	161	0	19	—	
	助成対象外	4,035	473	509	3,999	
	小計	4,196	473	528	4,141	49.2%
合計	8,760	473	811	8,422	100.0%	

【福岡高速道路】

(単位：億円)

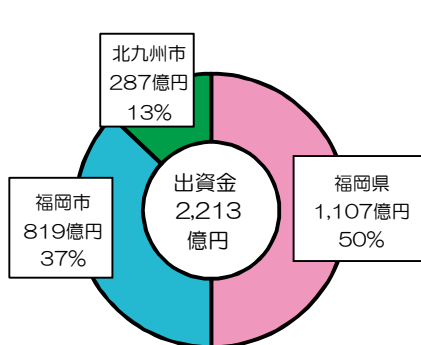
	H26年度末 借入金残高 A	H27年度 借入額 B	H27年度 償還額 C	H27年度末借入金残高		
				計 A+B-C	構成比 %	
出資金	1,638	0	0	1,638	30.2%	無利子 (42.5%)
無利子貸付金	786	0	123	663	12.3%	
特別転貸債	797	0	89	709	13.1%	
金融機構資金	70	0	8	62	1.1%	有利子 (57.5%)
民間資金	助成対象	132	0	19	—	
	助成対象外	2,240	313	319	2,233	
	小計	2,372	313	338	2,347	43.3%
合計	5,664	313	559	5,418	100.0%	

【北九州高速道路】

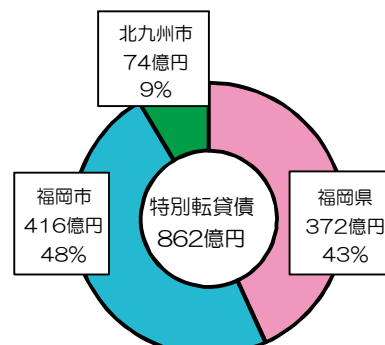
(単位：億円)

	H26年度末 借入金残高 A	H27年度 借入額 B	H27年度 償還額 C	H27年度末借入金残高		
				計 A+B-C	構成比 %	
出資金	575	0	0	575	19.1%	無利子 (34.6%)
無利子貸付金	497	0	31	466	15.5%	
特別転貸債	184	0	30	154	5.1%	
金融機構資金	17	0	2	15	0.5%	有利子 (65.4%)
民間資金	助成対象	29	0	29	—	
	助成対象外	1,795	160	190	1,765	
	小計	1,824	160	190	1,794	59.8%
合計	3,096	160	253	3,003	100.0%	

※ 端数処理の関係上、合計において合致しない場合があります。



出資金受入状況 (平成27年度末)



特別転貸債借入残高 (平成27年度末)

5) 平成28年度予算

(単位：億円)

事業区分	収 入			支 出				
	項 目	福岡 高速道路	北九州 高速道路	計	項 目	福岡 高速道路	北九州 高速道路	計
建設事業	出資金	2	0	2	高速道路建設費	11	0	11
	無利子貸付金	4	0	4	一般管理費	4	0	4
	特別転貸債	5	0	5	支払利息	0	0	0
	高速道路債券	4	0	4				
	小 計	15	0	15		15	0	15
管理事業	高速道路料金収入	405	169	574	維持改良費 (*1)	75	16	90
	駐車場料金収入	1	1	2	業務管理費 (*2)	58	32	90
	民間借入金	363	212	574	一般管理費	7	6	14
	業務外収入	1	1	2	業務外支出	630	328	958
					(内 元金償還金)	(586)	(299)	(885)
					(内 支払利息等)	(44)	(29)	(73)
	小 計	770	382	1,152	小 計	770	382	1,152
その他	受託業務収入等	0	1	1	受託業務費等	0	1	1
合計		785	383	1,168		785	383	1,168

※ 千万単位で四捨五入しているため、5千万円未満は表記上0となっております。

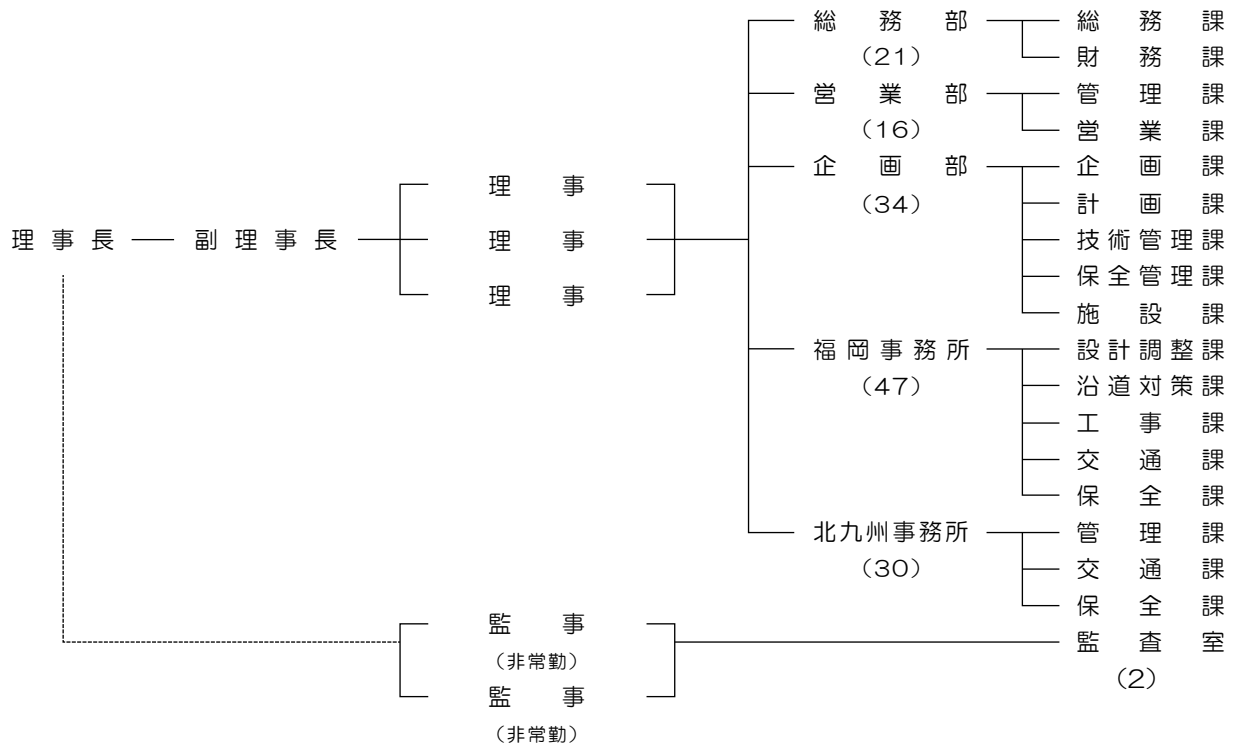
※ 端数処理の関係上、合計において合致しない場合があります。

(\*1) 維持改良費；高速道路及び附属施設の維持補修・改良工事に要する経費

(\*2) 業務管理費；高速道路の料金収受業務や交通管理管制業務委託ほか管理に要する経費

6) 役員・組織

平成28年7月1日現在



\*この実数内で常任調査役、調査役を配置（上記への表示、略。）



7) 主な経緯（計画路線・償還期間・主な供用・その他）

[延長は、総延長を示す。]

年月		福岡高速	北九州高速
1971年 (昭和46年)	11月	福岡北九州高速道路公社設立	
1972年 (昭和47年)	3月	当初の計画【21.2km】の大臣許可	当初の計画【19.9km】の大臣許可
1980年 (昭和55年)	10月	都市高速の償還期間30年	
		最初の開通：香椎～東浜[5.9km]	最初の開通：篠崎北～日明[3.7km]
1987年 (昭和62年)	11月	天神北供用[延長9.2km]	
1989年 (平成元年)	3月	百道・榎田・空港通供用[延長16.5km]	
1990年 (平成2年)	7月		計画の延伸【45.6km】 ・4号線[31.8km]新規組入れ ・1号線[下道津～西本町：6.1km]削除
1991年 (平成3年)	3月		旧道路公団より北九州道路・北九州直方道路引継ぎ、4号線として春日～馬場山間供用[延長45.6km]
	10月	計画の延伸【28.6km】 ・1号線[福重：3.2km]、2号線[月隈：2km] ・3号線[見直し：-0.9km] ・4号線[3.1km]新規組入れ	
1997年 (平成9年)	12月		計画の延伸【47.1km】 ・1号線[長野：1.5km]
1998年 (平成10年)	2月	計画の延伸【38.7km】 ・2号線[水城：6.3km]、4号線[福岡IC：3.8km]	
	11月		計画の延伸【54.7km】 ・5号線[7.6km]新規組入れ
	12月	計画の延伸【56.8km】 ・5号線[18.1km]新規組入れ	
1999年 (平成11年)	3月	償還期間を30年から40年に延長 水城（太宰府IC接続）・粕屋供用[延長31.0km]	
2000年 (平成12年)	7月		償還期間を30年から40年に延長 長野供用[延長47.1km]
2001年 (平成13年)	7月		枝光供用[延長49.5km]
	10月	福重供用（西九州自動車道接続）[延長36.8km]	
2002年 (平成14年)	3月	福岡IC接続[延長38.7km]	
	12月		平成15年度政府予算において新規制度の創設（償還期間の制度改正【40年→50年】） 『北九州高速の大規模補修に対する公的助成の拡充』
2003年 (平成15年)	5月	板付供用[延長41.4km]	
2004年 (平成16年)	3月		計画の見直し【49.5km】 ・大規模補修工事新規組入れ ・5号線[戸畑～枝光：5.2km]削除
2006年 (平成18年)	2月		償還期間を40年から50年に延長 [小倉東IC接続]
	4月	E T C運用開始	
2008年 (平成20年)	11月		E T C運用開始
2011年 (平成23年)	12月	平成24年度政府予算において新規制度の創設（償還期間の制度改正【40年→50年】） 『福岡都市高速道路の老朽化・予防保全対策に対する償還期間の延長』	
2012年 (平成24年)	7月	償還期間を40年から47年に延長 5号線全通（環状化）[延長56.8km]	
2015年 (平成27年)	3月	福岡県・福岡市・公社の三者で、自動車専用道路アイランドシティ線及び福岡空港関連の自動車専用道路の整備を進めていくことについて合意	
2016年 (平成28年)	9月	計画の延伸【59.3km】 ・6号線[2.5km]新規組入れ	

### お客様問い合わせ番号

(平日/8:45~17:30)

福岡高速 092-631-0122  
北九州高速 093-922-6811

### 事故や災害など緊急連絡先

緊急ダイヤル #9910  
福岡高速 092-631-0123  
北九州高速 093-922-6812

### ハイウェイテレホン

(自動音声/24時間)

福岡高速 092-643-1300  
北九州高速 093-931-1400

■ 総務部 役員受付 TEL(092)631-3281  
総務課 TEL(092)631-3282  
FAX(092)631-3287

財務課 TEL(092)631-3289  
FAX(092)631-0128

■ 監査室 監査室 TEL(092)631-3295  
FAX(092)631-0128

■ 営業部 営業課 TEL(092)631-3284  
FAX(092)643-6228

管理課 TEL(092)631-3292  
駐車場専用 TEL(092)643-6114  
FAX(092)631-0277

■ 企画部 企画課 TEL(092)631-3291  
計画課 TEL(092)631-3290  
技術管理課 TEL(092)631-3293  
FAX(092)643-7061

保全管理課 TEL(092)631-3285  
施設課 TEL(092)631-0153  
FAX(092)641-6260

■ 福岡事務所 設計調整課 TEL(092)631-0134  
FAX(092)632-5591

沿道対策課 TEL(092)631-0148  
FAX(092)643-0972

工事課 TEL(092)631-0136  
FAX(092)631-6830

交通課 TEL(092)631-0123  
FAX(092)632-5559

保全課 TEL(092)631-3304  
FAX(092)643-2070

■ 北九州事務所 管理課 TEL(093)922-6813  
保全課 TEL(093)922-6815  
駐車場専用 TEL(093)922-7036  
FAX(093)922-6816

交通課 TEL(093)922-6812  
FAX(093)922-6829



### 福岡北九州高速道路公社

〒812-0055 福岡市東区東浜2丁目7番53号(高速香椎線東浜ランプ隣り)

<http://www.fk-tosikou.or.jp>

都市高速

検索